

やまぐち産業脱炭素化戦略

進捗状況2024年度（令和6年度）

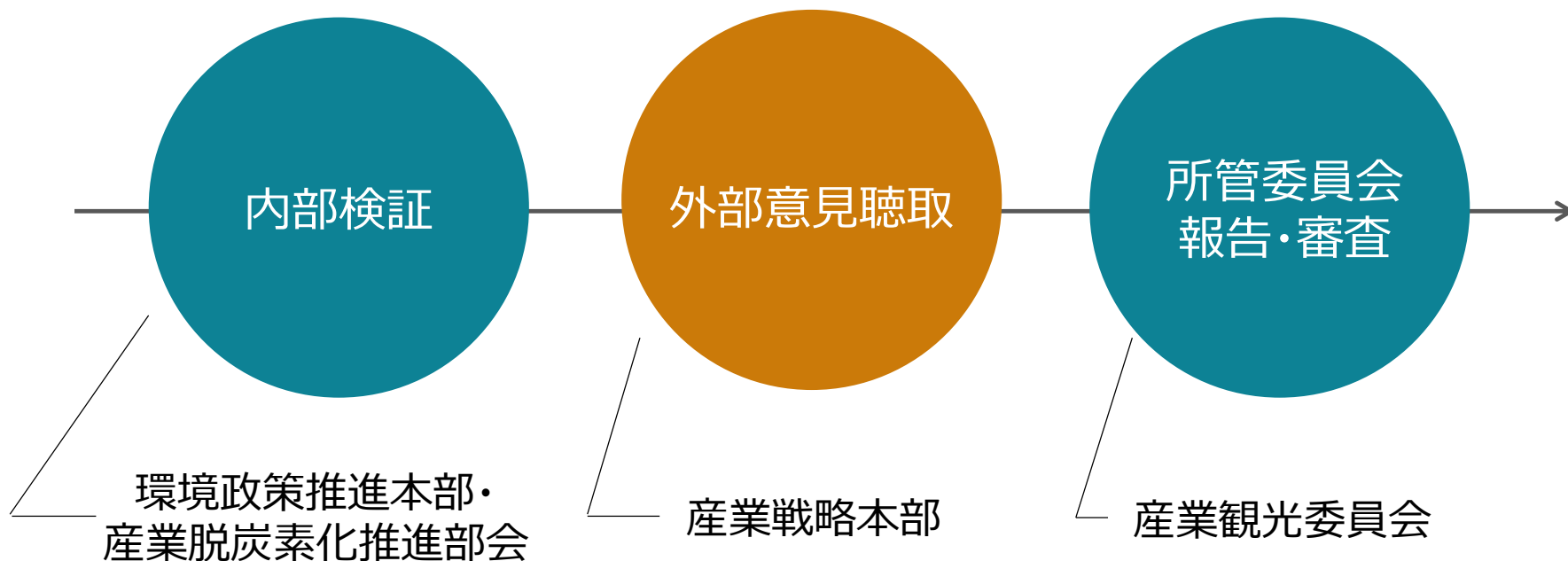


2025(令和7)年8月29日

令和7年度 山口県産業戦略本部 第1回全体会合

やまぐち産業脱炭素化戦略の進行管理

- ・各施策に基づく取組状況は、毎年度、点検・検証を実施
- ・本戦略に掲げる先行プロジェクトやK P I は、2030(令和12)年度を当面の区切りとしてい
ることから、K P I の達成状況の評価は、中間評価として2026(令和8)年度分と、期末
評価として2030(令和12)年度分で実施
- ・「内部検証」、「外部意見聴取」及び「所管委員会報告・審査」で構成



進捗状況2024の概要



主な実績

2024(令和6)年4月1日から2025(令和7)年3月31日までの主な実績を17の主な施策の柱毎に抽出して記載

※今年度の進捗も補記
(8月末まで)



K P I

主として2024年度（累積値の場合は2024年度まで）の実績値を記載



参考指標

【環境面の参考指標】

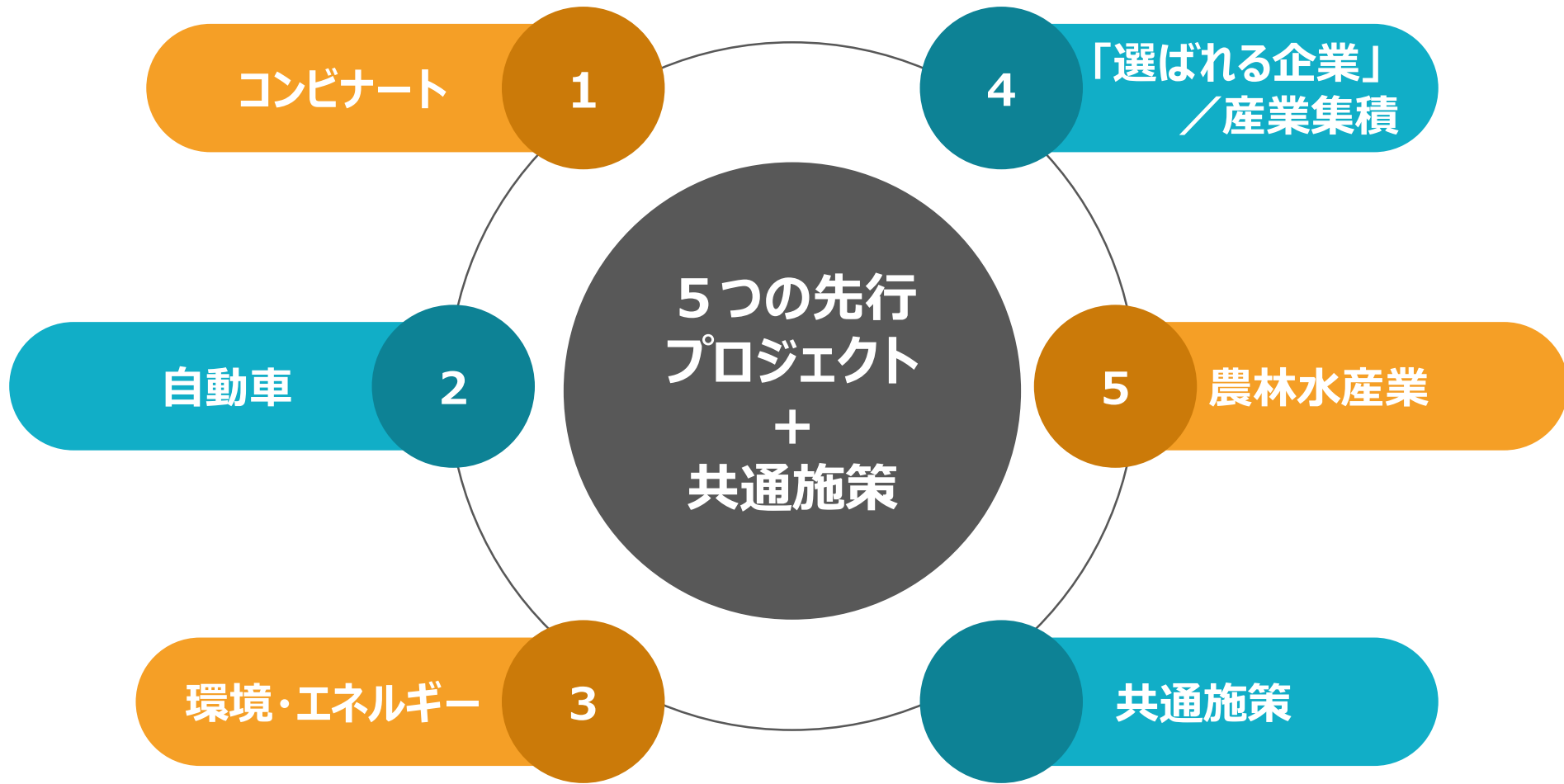
2021(令和3)年度のCO₂排出量を記載

【経済面の参考指標】

2022(令和4)年度の県内総生産（名目）等を記載

※CO₂排出量と経済状況の関係

戦略の体系



主な実績

1 脱炭素社会の産業拠点となるカーボンニュートラルコンビナートの実現

- ① 燃料転換等によるコンビナートのCO₂排出削減
- ② 次世代燃料（水素、アンモニア等）・素材の供給基地化

● 地域連携体制の構築・活性化、連携事業への経済的支援

▽ 岩国・大竹地域

- ・座長・幹事企業等とテーマ創出に向けた調整を実施

▽ 周南地域

- ・経済産業省が周南コンビナートの取組を視察（5/11）
- ・アンモニアSC 事業の計画認定について政府要望活動を実施（11/14）

▽ 宇部・山陽小野田地域

- ・UBE三菱セメント及びUBEによる「セメント製造におけるアンモニア混焼の実証」を補助事業として支援（2年目）
- ・2050年カーボンニュートラルコンビナートグランドデザインの策定・公表（3/28）
（オブザーバーとして関係会議への出席）

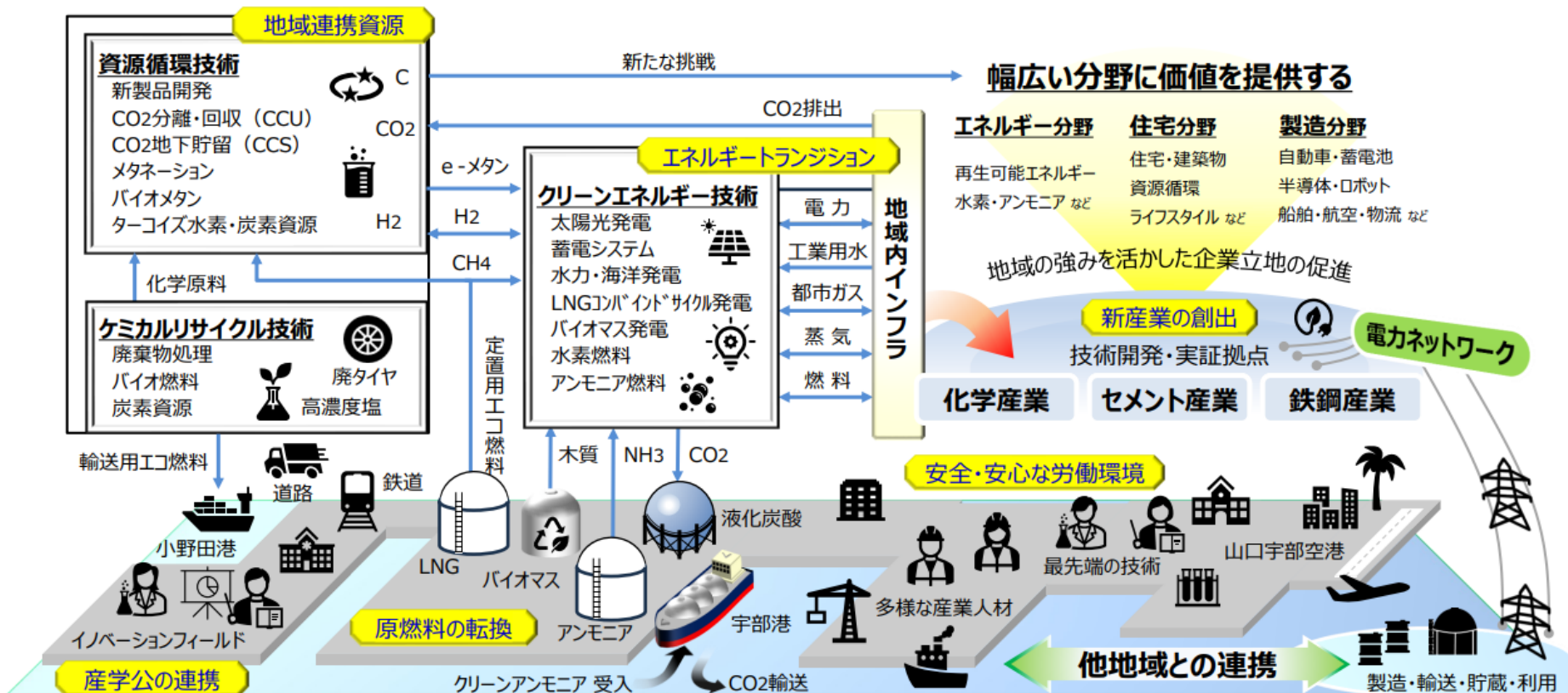
宇部・山陽小野田地域コンビナート カーボンニュートラル構想 詳細版

宇部・山陽小野田地域
コンビナート企業連携検討会議

環境にやさしいエネルギー

2050年 カーボンニュートラル達成

活があり 魅力あふれる地域



© 2025 宇部・山陽小野田地域コンビナート企業連携検討会議

●連携事業のコーディネート

▽山口県コンビナート連携会議の開催（9/4）

▽カーボンニュートラルに係る企業動向調査の結果を説明（5/16）

▽技術連携マッチングカルテの運用開始（12/3）

登録件数：14件、マッチング実績：2件

●規制関連のサポート

▽政府要望活動（春・秋）において規制緩和の項目を要望

③ カーボンニュートラルポート（CNP）の形成推進

● 港湾脱炭素化推進計画の策定

▽ 周南地域

- ・徳山下松港湾脱炭素化推進協議会を開催（1/21）

※徳山下松港湾脱炭素化推進計画は令和6年3月に策定・公表

▽ 宇部・山陽小野田地域

- ・計画策定に向けた協議会の開催（8/26,11/22）
- ・企業ヒアリングの実施（10月）

※宇部港港湾脱炭素化推進協議会及び小野田港港湾脱炭素化推進協議会は令和5年度末に設置



宇部港港湾脱炭素化推進協議会
小野田港港湾脱炭素化推進協議会

■ 全般

- ・GX戦略地域及び国家戦略特区に係る調整を実施
- ・第9回調査検討会議を開催し、GX戦略地域の制度概要等について説明(7/18)

■ 岩国・大竹地域

- ・座長・幹事企業の訪問、会議に出席し、今後の取組等について説明及び意見交換

■ 周南地域

- ・政府要望活動においてアンモニアSC事業の計画認定を要望（6/12）

■ 宇部・山陽小野田地域

- ・地域会議や、グランドデザインに係るWG及びWTに出席

■ カーボンニュートラルポート

- ・宇部港及び小野田港の脱炭素化推進計画の策定に向け、関係者での協議を実施中
(6/3、8/28)



9月以降の取組

- GX戦略地域の選定に向け、具体的なプロジェクトの創出に係る調整
- 国家戦略特区に係る規制緩和の提案内容や代替措置の検討
- 宇部港及び小野田港港湾脱炭素化推進計画の策定・公表

- ④ 電動化シフトに向けた業態転換や新事業展開の促進
- ⑤ 自動車のライフサイクル全体での低炭素化の促進

●地場サプライヤー等の業態転換支援

▽電気自動車の部品展示や解説、専門家との意見交換を行う

・「電動車関連部品展示説明会」を開催（11/19～20）

※25社、149名が参加



電動車関連部品展示説明会

▽「やまぐち自動車産業電動化イノベーション等促進補助金」の採択

・電動化関連枠【1件】 脱炭素化関連枠【2件】

区 分	事業の概要
電動化関連枠	繊維技術を用いた電動化に貢献する軽量でリサイクルも可能な自動車用吸音外装材の開発
脱炭素化関連枠	電力監視システムの導入
	自動車部品製造工程における搬送業務のAGV（無人搬送車）化による生産性向上及びCO2削減

●電動化に対応した新技術・新製品の創出支援

▽電動化対応関連事業アドバイザーを配置し、個別テーマを設定した「電動化関連技術研究会」を開催

- ・第1回：9/11 （12団体36人参加）
- ・第2回：1/21 （18団体52人参加）
- ・第3回：11/24 （15団体53人参加）

※研究会開催後も、アドバイザーによる個別面談等の伴走支援を随時実施



名古屋大学（未来技術・システム研究所）教授 山本 真義氏

山口大学大学院理工学研究科にて博士号取得後、島根大学准教授を経て、現職。EV分解研究の第一人者。宇部市出身

アドバイザー

▽自動車専門コーディネータによるマッチング等支援

- ・産業技術センターに配置した広政CD（現役マツダ(株)社員）により、マッチングに向けた企業訪問を随時実施

省エネ機器などの県内自動車部品メーカー等への導入件数：9件

●自動車関連企業への普及啓発

▽脱炭素経営の導入を目標とした生産性向上に取り組むセミナーを実施

- ・経営層を対象に実施（7/29）
- ・管理者層を対象に実施（9/13、11/15）

※講師はいずれもトヨタ自動車株式会社OB



脱炭素経営の導入を目標とした生産性向上に取り組むセミナー

■ 電動化

- ・「電動化関連技術研究会」を6月にキックオフ(6/12～13 4社参加)
- ・やまぐち自動車産業電動化イノベーション等促進補助金（電動化関連枠）の公募（7/14～8/20）

■ 低炭素化

- ・やまぐち自動車産業電動化イノベーション等促進補助金（脱炭素関連枠）の採択【4件】
- ・昨年度、補助金を活用し、生産工程のCO2排出量削減に取り組んだ企業の見学会開催

■ 普及啓発

- ・脱炭素経営の導入を目標とした生産性向上に取り組むセミナーの実施
講師：トヨタ自動車株式会社OB（6/24～25及び7/29～30 15名参加）

9月以降の取組

- 「電動化関連技術研究会」の成果報告（試作品の提案）
- 「電動化関連枠」の補助金採択、「電動車関連部品展示説明会」の開催（10/8～9）

3 クリーンエネルギー供給拡大に資する環境・エネルギー関連産業の振興

⑥ 発電事業等の脱炭素化の促進

●地域と共生した再エネの導入に向けた環境整備の促進

▽政府要望（春・秋）において、「再生可能エネルギーの導入拡大に向けた地域との共生を促す環境整備」について要望

【国の対応状況】

○令和7年度当初予算として、以下の事業が措置

【経済産業省】

- ・洋上風力発電の導入促進に向けた採算性分析のための基礎調査事業【9.1億円（6.5億円）】
- ・再生可能エネルギー事業規律強化事業【3.6億円（2.7億円）】

【環境省】

- ・環境保全と利用の最適化による地域共生型再エネ導入加速化検討事業【9.3億円（7.2億円）】

○太陽光発電設備の廃棄・リサイクルに関しては、環境省の太陽光発電設備リサイクル制度小委員会と経産省の太陽光発電設備リサイクルワーキンググループの合同会議において、令和6年9月から12月にかけて、制度設計に向けた議論が行われ、「太陽光発電設備のリサイクル制度のあり方について」が取りまとめられた。

⑦ 省・創・蓄エネ関連産業のイノベーション創出等（設備・住宅・建築物、蓄電池等）

●環境・エネルギー関連産業イノベーションの創出

▽やまぐち産業イノベーション加速化補助金（カタパルト枠・環エネ分野）【2件】

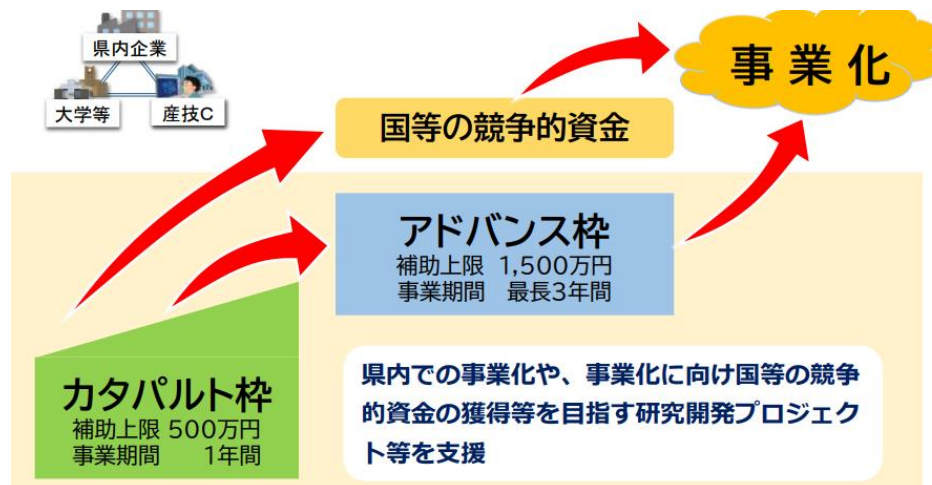
【採択案件の概要】

- ・食品高粘性流体の加熱殺菌処理の省エネ化技術開発
- ・熱プラズマ基盤技術による有害物質の高効率分解及び無機金属粉体の高純度化に関する要素研究

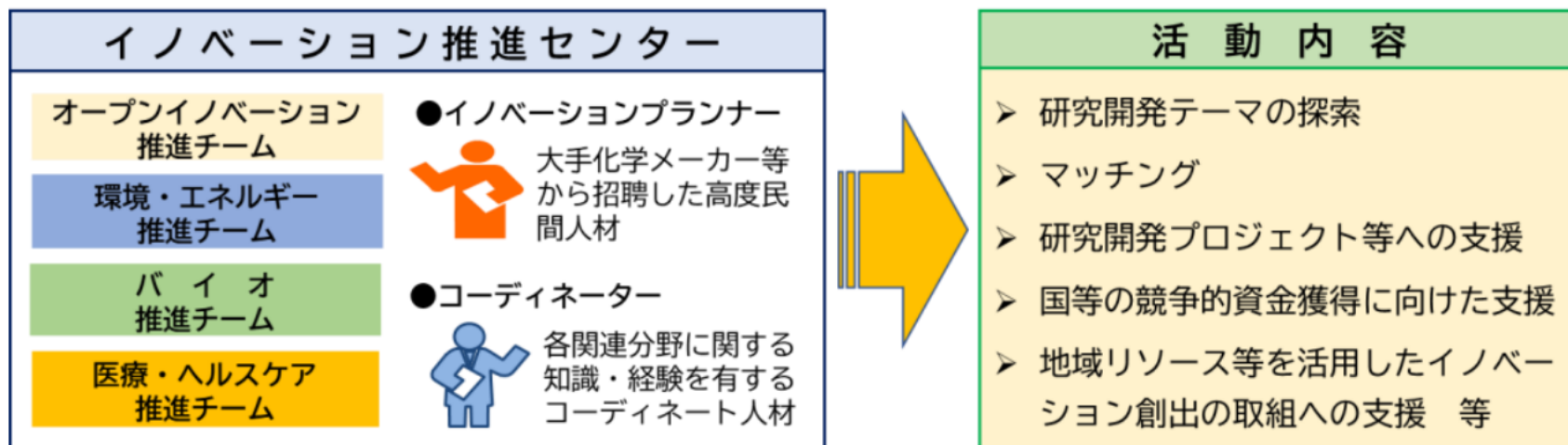
▽やまぐち産業イノベーション加速化補助金（アドバンス枠・環エネ分野）【1件】

【採択案件の概要】

- ・連続式高温熱処理装置の開発



▽県産業技術センターに「イノベーション推進センター」を設置し、マッチングや研究開発プロジェクト等を支援



▽「やまぐち中小企業脱炭素化促進支援補助金（売込支援型）」の採択【6件】

【採択案件の概要】

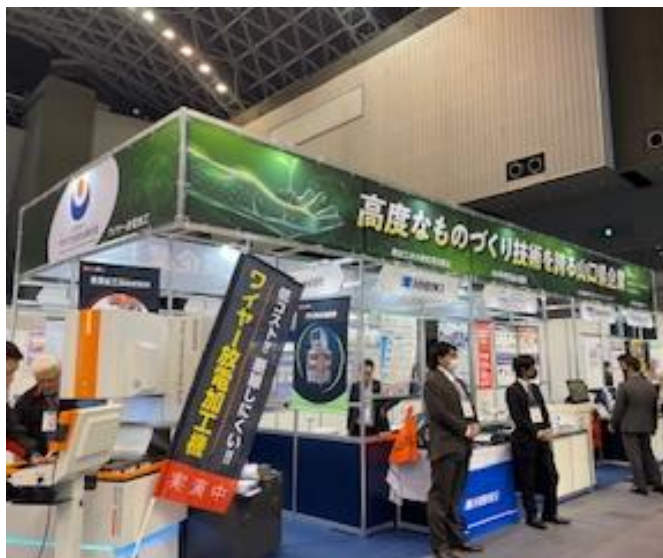
- ・エア漏れ検査サービス
- ・省スペース型3Dフリーザー
- ・ため池管理システム
- ・省エネ型ラボ用ロボットシステム
- ・水素用配管
- ・省エネ型温風乾燥試験機

※採択された企業は、コーディネータの伴走支援を受けながら、展示会への個別出展を実施

▽脱炭素関連製品展示会等支援

- ・脱炭素関連製品等を有する企業を取りまとめて、山口県ブースとして展示会に出展

展示会	参加企業
NEW環境展（5/22～24）	4社
第29回機械要素技術展（6/19～21）	4社
スマートエネルギーウィーク秋2024（10/2～4）	4社
第5回フードテックジャパン（11/20～22）	4社
第2回九州機械要素技術展（12/11～13）	9社



第2回九州機械要素技術展

●地域中核企業等と県内大手企業とのマッチング機会提供

- ▽県産業技術センターにおいて、「やまぐち次世代産業推進ネットワーク」の環境・エネルギー分野を担う「環境・エネルギー研究会」（会員数：約70社・機関）を設置・運営
- ▽幅広い分野から技術や課題を持ち寄るため「オープンイノベーション推進チーム」を新設
- ▽研究会・マッチングセミナー等の開催
 - ・「環境・エネルギー研究会セミナー」の開催（12/9）

●産学公連携による研究開発・事業化の促進

- ▽「山口大学グリーン社会推進研究会」への参加
 - ・シンポジウム、シーズ・ニーズ交流会の開催（11 /13）

●半導体・蓄電池産業への県内企業の参入促進

- ▽やまぐち産業イノベーション促進補助金（半導体・蓄電池関連分野）の採択【3件】

【採択案件の概要】

<半導体関連>

- ・半導体製造装置向けプラズマクリーナーの開発
- ・パワー半導体向けセラミック基板の自動寸法測定器の開発

<蓄電池関連>

- ・DCバスシステムの開発

▽半導体・蓄電池産業集積強化事業補助金（部材開発等推進）の採択【3件】

【採択案件の概要】

- ・半導体製造装置向けチタン表面技術の開発
- ・半導体フォトマスク作成用の化学材料の開発
- ・半導体用微細チップのバリ取り技術の開発

▽推進体制の整備

- ・やまぐち半導体・蓄電池産業ネットワーク協議会会員 136者（R7.3.1時点）

▽産学公連携による人材確保・育成の推進

- ・県内企業等へのアンケート調査の実施
- ・県内企業及び高等教育機関が参画する人材確保・育成対策に係る検討会の開催（9/4、11/1、2/5）

▽研究会・マッチングセミナー等の開催

- ・「半導体・蓄電池関連技術セミナー」の開催（8/21）

▽県内企業と台湾企業との交流連携の強化

- ・台湾電子設備協会、工業技術研究院の来県による商談会等の開催（11/8）
- ・SEMICON Taiwan 2024（台北市）への出展（9/4-6）

●県産省・創・蓄エネ関連設備の普及啓発

▽県産省・創・蓄エネ関連設備登録制度（工場・事業場・事務所用）の募集（通年）
・今年度の 新規登録実績：2社 269件（登録計：5社 349件）

▽中小企業者等向け省・創・蓄エネ設備設置補助金の公募（4/9～5/24）
・応募件数 66 件のうち採択37件（うち県産品導入：10件）
⇒R7.1 2事業廃止し35事業（県産品導入件数変更なし）

⑧ 水素利活用の推進

●水素社会を見据えた新たな技術開発の促進による産業振興

▽「『水素先進県』実現加速化事業（部材開発等推進）補助金」の採択【5件】

【採択案件の概要】

- ・大容量無漏洩高純度水素圧縮機の開発
- ・密封水冷式 水素発生用電源の開発
- ・建機向け燃料電池システム用配管の開発
- ・系統連系型燃料電池発電システムの開発
- ・大型車両用水素ステーション向け配管の溶接技術開発



▽「水素関連技術セミナー」の開催(11/11)

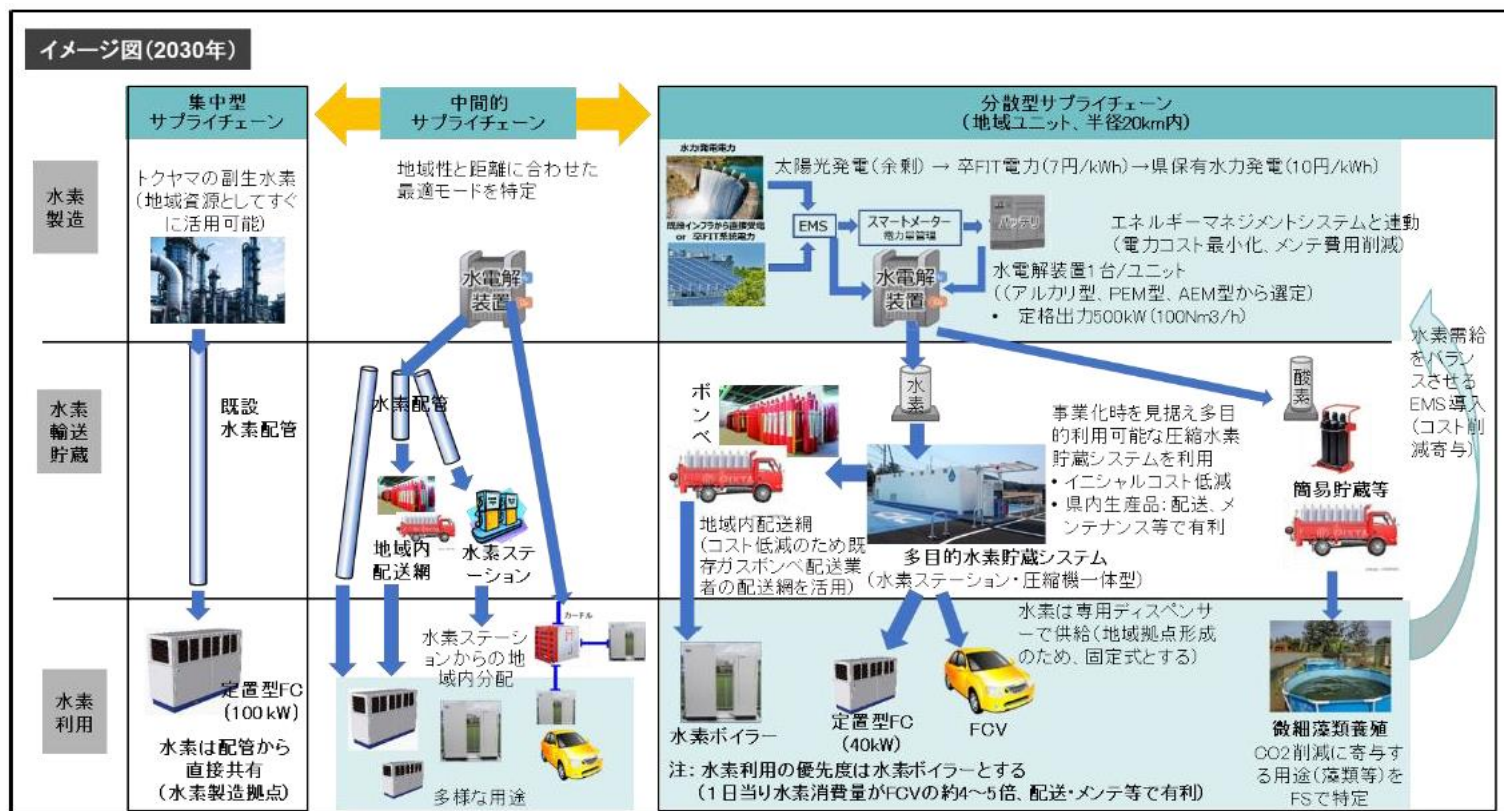
大容量無漏洩高純度水素圧縮機

●先進的な水素利活用モデルの展開による地域づくり

▽「低コスト水素サプライチェーン創生に向けたエリア拡張型地域資源融合山口モデルのF S事業」の採択（環境省委託事業）※協力自治体として事業に参画

・事業内容

周南コンビナートに立地する苛性ソーダ工場における副生水素配管を活用した商業施設での利用や、防府・山口地域における既存のガス配送業者の配送網などを活用した燃料電池自動車やボイラー等での利用を想定した、低コストによる水素供給サプライチェーンの構築に向けたF Sを実施



⑨ 次世代を担う資源循環型産業の強化

●資源循環型産業の育成支援

- ▽「資源循環型社会形成推進事業補助金」の採択【2件】
(廃棄物 3 R等推進事業…1件、地域循環圏活性化事業…1件)

【採択案件の概要】

- 廃棄物 3 R等推進事業
 - ・木質チップ製造施設の整備
- 地域循環圏活性化事業
 - ・食品残渣を利用した飼料（エコフィード）の新たな活用方策の検討

●リサイクル製品等の認定拡大

- ▽「山口県認定リサイクル製品」の認定【7件】

【認定案件の概要】

- ・コンクリートがら ⇒ 再生砕石（2件）
- ・ステンレス製鋼スラグ ⇒ スラグ骨材
- ・木くず ⇒ 木質チップ
- ・PETボトルキャップ ⇒ プラスチック再生ペレット
- ・プラスチック原料メーカーロス品 ⇒ プラスチック再生ペレット
- ・自社再生PET繊維 ⇒ ポリエステル不織布

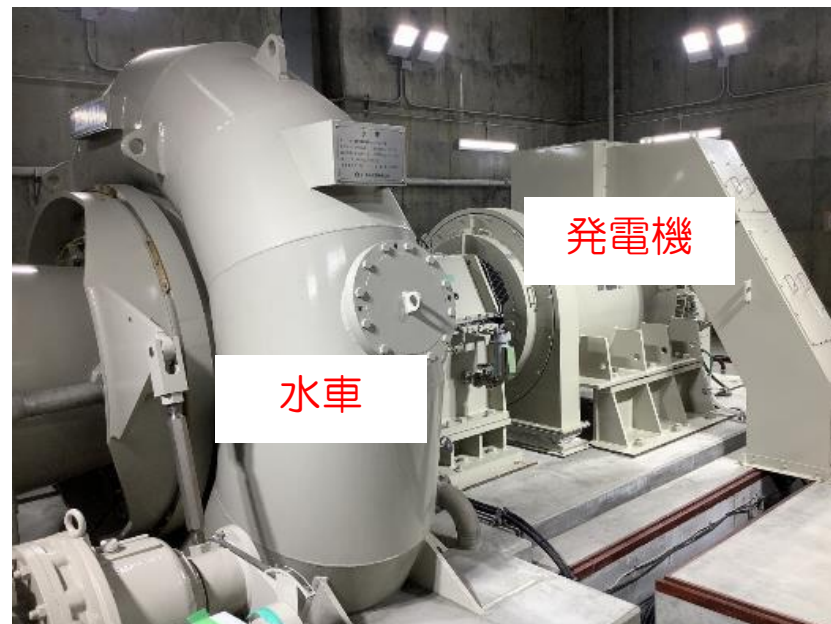
⑩ 県企業局の水力発電の供給力向上

● 平瀬発電所の着実な建設と運転開始

▽ 水車・発電機等の試験を終了し、令和7年3月に運転開始
(年間発電電力量：5,250MWh)



発電所



● 既設発電所のリニューアル・リパウリングの推進

▽ 新阿武川発電所のリパウリングに着手

■イノベーションの創出等

- ・「やまぐち産業イノベーション加速化補助金（アドバンス枠/環境・エネルギー）」の新規採択【1件】
- ・「やまぐち中小企業脱炭素化促進支援補助金（売込支援型）」の採択【5件】

《半導体・蓄電池》

- ・「やまぐち産業イノベーション促進補助金（半導体・蓄電池関連）」の新規採択【1件】
- ・「半導体・蓄電池産業集積強化事業（部材開発等推進）補助金」の採択【3件】

■水素利活用の推進

- ・「『水素先進県』実現加速化事業（部材開発等推進）補助金」の採択【4件】
- ・産業技術センターや県内企業が行う「コスト競争力強化を図る再エネ等由来水素サプライチェーンモデル構築・実証事業」が、環境省の委託事業に採択(8/1)

■資源循環型産業の強化

- ・廃漁網と牡蛎パイプを県内から回収し、ペレットや板材等にリサイクルする実証事業を実施

■水力発電の供給力向上

- ・水資源の更なる有効活用を図るため、ダム運用高度化等を検討

9月以降の取組

- SEMICON Taiwan 2025（台北市）等、国内外の展示会への出展
- リサイクル製品及びエコ・ファクトリーの募集（10月から1ヶ月程度の予定）

4 脱炭素社会においても「選ばれる企業」への成長促進・関連産業の集積

⑪ 県内企業・工場等における脱炭素化に向けた取組への支援

● 県内企業・工場等の脱炭素化に対する支援

▽「中小企業者等向け省・創・蓄エネ設備設置補助金」の実施【35件】（再掲）

▽太陽光発電設備等の共同購入参加登録者の募集

- ・家庭向け：登録者数 707件
- ・事業者向け：登録者数 21件

▽「やまぐち中小企業脱炭素化促進支援補助金（炭素生産性向上型）」の採択【5件】

【採択案件の概要】

- ・最新のキュービクル式高圧受電設備及び蓄電池の導入
- ・脱炭素ロードマップに沿った調理・空調設備の導入
- ・太陽光発電由来の電力を使用する自動搬送機の導入
- ・コンピュータ数値制御によるワイヤー放電加工機の導入
- ・生産性の高いめっき槽及び温度調節器等の導入

※コーディネータの伴走支援のもと、生産性向上を伴いつつ、CO2排出量削減等に資する設備等の導入を支援

▽中小企業のCO2排出量算定や脱炭素計画策定等の支援【12件】

●脱炭素経営に取り組む中小企業への金融支援

▽「省・創・蓄エネ関連設備整備資金融資」の運用

▽「次世代自動車整備資金融資」の運用

▽「脱炭素経営未来投資応援資金」の運用

▽金融機関や信用保証協会、中小企業支援団体から構成する「中小企業支援ネットワーク」会議を開催し、脱炭素経営の進め方に関する情報交換を実施(9/24、3/18)

●「やまぐちぶちエコでんき」による再生可能エネルギーの利用拡大

▽「やまぐちぶちエコでんき」の加入企業：11企業（19事業所）

⑫ 中小企業に対する普及啓発の促進、経営相談、研究開発等の支援機能の強化

●山口県地球温暖化防止活動推進センターとの連携

▽中小企業向け脱炭素セミナーを開催（9/25,10/10）

・22社が参加

▽専門家による省エネ診断

・6月上旬には募集枠の50件に到達

▽「やまぐち再エネ電力利用事業所」の認定

・新規認定：13事業所

●経済団体等と連携した普及啓発、やまぐち産業振興財団・商工会議所等支援機能の強化

▽中小企業や支援機関を対象にセミナーを開催

・中小企業向け…県内6地区で入門編、専門編、実践編のセミナーを開催⇒257名が参加

・支援機関向け…県内2ヶ所でセミナーを開催⇒23名が参加

⑬ 脱炭素関連産業の新規立地・拡大投資の促進

●蓄電池や半導体等、グリーン関連分野の成長企業をターゲットにした強力な誘致活動の展開

●脱炭素化に向けた取組を行う企業の設備投資への支援

▽東京・大阪企業誘致センターと一体となった積極的な企業訪問を実施【約1,800件】

⇒令和6年は27件の誘致を実現（目標は25件）

【主な案件】

○日本ゼオン(株)

○丸一鋼管(株)・丸一ステンレス鋼管(株)



日本ゼオン・新プラント建設協定調印式

■工場等の脱炭素化支援

- ・「中小企業者等向け省・創・蓄エネ設備設置補助金」（一次公募分）の採択【32件】
- ・「やまぐち中小企業脱炭素化促進支援補助金（炭素生産性向上型）」の採択【5件】
- ・「やまぐちぶちエコでんき」の加入状況【36社61事業所/17,789MWh】

■中小企業への普及啓発・相談支援等

- ・専門家による省エネ診断の対象企業の募集【50件応募/募集枠50件】
- ・山口県中小企業団体中央会と連携し、普及啓発や相談支援を実施
 - ▶中小企業や金融機関等を対象としたセミナーの開催(8/19～、順次、開催)
 - ▶脱炭素計画策定等の支援を希望する企業の公募(7/16～30、8/20～9/19)

■新規立地・拡大投資の促進

- ・企業訪問の実施【約600件】（R7.8月末時点の見込）
- ・誘致実績【R7.1～7月：17件】

9月以降の取組

- 中小企業に対する脱炭素計画策定等の支援を実施【実施枠：12企業】
- 炭素生産性向上型補助金等を活用してCO2排出量削減を実践した企業の事例集の作成
- 知事のトップセールスなど積極的な企業誘致活動を展開

⑭ 農業の自然循環機能の増進

● 持続可能な農業の推進

▽「農林業産学公連携プラットフォーム」を活用し、研究開発を促進

- ・大学や民間企業等（外部連携会員）との意見交換や共同研究の実施

▽グリーン農産物の生産拡大に向け、販売促進体制の整備や普及啓発を実施

- ・グリーンサポーター養成研修の開催(12/5)
- ・グリーンサポーターによる店頭での販促活動の実施
（アスパラガス、米、お茶及びネギの試食宣伝）

▽有機農業の推進

- ・有機農業産地づくりに向けた試行的な取組を支援（長門市）
- ・有機農業等推進アドバイザー養成研修の開催（11/7）

▽県産飼料の生産・利用拡大及び連携体制の構築等

- ・26取組主体で38件の機器・設備導入を支援
- ・20 組織で技術指導や耕畜連携体制構築を支援
- ・環境負荷軽減飼料の推進に係る現地研修会の開催（9/27）



水田除草機の現地研修会

●良質堆肥の製造・利用

▽山口県環境調和型スマート畜産推進協議会の開催(5/29)

▽良質堆肥の製造・利用等に係る研修会の開催(12/20)

⑮ 森林資源の循環利用の推進

●エリートツリー等の活用

▽エリートツリーコンテナ苗の短期露地栽培技術の実践・実証

- ・「充実種子選別装置」利用による発芽能力が高いエリートツリー種子を精選・供給
- ・県内 4 箇所で開催短期露地栽培技術を実施

●県産木材の利用促進

▽「新たな木材需要創出モデル事業補助金」の採択 【7件】

※民間建築物の木材利用を促進する取組が対象

▽「やまぐち木の家づくり推進事業補助金」の採択 【87件】

※一定割合以上の優良県産木材を利用した住宅が対象

▽「やまぐち非住宅建築物木造化推進事業補助金」の採択 【2件】

※県独自の協定制度を締結した施工業者等が建築する事業用建築物が対象

▽中・大規模木造建築を担う人材育成の研修（5回実施）



中・大規模木造建築を担う人材育成研修

● バイオマスの活用推進

▽「木材利用加速化事業（木質バイオマス利用促進施設整備分）補助金の採択 【3件】

【採択案件の概要】

- ・木質資源利用ボイラー 一式
- ・固定式チップパー、木質チップ選別機等
- ・移動式チップパー 1台



固定式チップパー

▽森林Ｊクレジット創出支援補助金の採択 【2件】

※プロジェクト計画書の作成に係る事前調査やクレジット創出量を算定するための森林資源調査等が対象

▽森林Ｊ－クレジットセミナーの開催（10/28）55名参加

▽森林Ｊ－クレジット活用セミナーの開催（3/19）108名参加

⑰ 水産資源の増殖とCO₂の吸収固定を担う藻場・干潟の保全・機能回復の促進

●藻場・干潟の保全や機能回復の促進

▽国の漁場生産力・水産多面的強化対策事業を活用し、活動組織（19グループ）が藻場・干潟の保全活動を実施

【活動組織一覧】

市町	グループ名
阿武町	阿武藻場保全グループ
萩市	萩藻場保全グループ、江崎・須佐藻場保全グループ、越ヶ浜藻場保全グループ、萩大島藻場保全グループ
長門市	通藻場保全グループ、長門東藻場保全グループ、黄波戸藻場保全グループ
下関市	王司干潟改良グループ、下関ひびき藻場保全グループ、六連島藻場保全グループ、川棚藻場保全グループ
宇部市	床波海域保全グループ
周南市	周南地域干潟保全活動グループ（周南地区）
下松市	周南地域干潟保全活動グループ（下松地区）

市町	組織名
周防大島町	瀬戸内海再生プロジェクトイン白木半島、瀬戸内海再生プロジェクトイン安下庄
岩国市	神代アサリグループ、通津アサリグループ

●漁港施設を活用した藻場増殖等の取組

▽防波堤などの既存の漁港施設を有効活用した藻場造成【4箇所】

- ・仙崎漁港（大日比地先、仙崎地先、白潟地先）
- ・野波瀬漁港（野波瀬地先）

▽藻場保全によるJブルークレジット活用推進事業

- ・「海のゆりかごブルーカーボンプロジェクトinセンザキ」協議会の設置
- ・令和5年度Jブルークレジット（認証クレジット：12.6t-CO₂）
- ・令和6年度Jブルークレジット（認証クレジット：11.9t-CO₂）
- ・環境保全学習会の開催（令和5年度、令和6年度）



▽Jブルークレジット活用指針（暫定版）の策定

■ 農業の自然循環機能の増進

- ・市町での有機農業産地づくりに向けた試行的な取組を支援
- ・温室効果ガス排出削減に資するエコ牛飼養管理体系への転換を支援【22件】

■ 森林資源の循環利用の推進

- ・やまぐち木の家づくり推進事業補助金の交付決定【20件】（8月末時点）
- ・「竹市場」の開設に向けた関係機関との調整や「竹資源情報提供システム」の開発を実施

■ バイオマスの活用推進

- ・木質バイオマス利用促進施設整備に係る補助金の交付決定【2件】
- ・森林Jクレジット創出支援補助金の交付決定【1件】

■ 藻場・干潟の保全・機能回復の促進

- ・県内4地域でウニの海域別養殖条件を検証するための養殖試験を実施
- ・「海のゆりかごブルーカーボンプロジェクトinセンザキ」が認証・発行されていたクレジット（11.9t-CO₂）について、18社が購入（6/18公表）

9月以降の取組

- 森林Jクレジットについて、セミナーの開催や取組事例集の作成・配布
- Jブルークレジット活用指針（完成版）の策定

【共通施策】

●県民理解の醸成

▽やまぐち県政出前トークの実施【2回】

●人材育成

▽D XやG X等の新たな分野のリスキリング支援の実施

・リスキリングに関するセミナーの開催（10/2）27名参加

▽D XやG Xの人材育成に対する支援

▽「企業から学ぶ！ 専門高校カーボンニュートラルプロジェクト」において、県内の高校と企業とが連携して、カーボンニュートラルに関する教育活動を展開

【実施校（9校）と主な連携先】

下松工業高校（東洋鋼鈑(株)）、徳山商工高校（出光興産(株)）、小野田工業高校（長州産業(株)）、萩商工高校（(株)古田工務店）下関工科高校（(株)安成工務店）、大津緑洋高校（永山酒造(名)）、岩国商業高校（(株)リテールパートナーズ）、厚狭高校（花の海、田中醤油醸造場）、田部高校（静食品(株)、(株)秋秋川牧園）

●国への働きかけ

▽春・秋の政府要望を実施（6/13,11/14）

・産業分野のC N関連で「超重点」5項目を要望

■人材育成

- ・高等産業技術学校の自動車整備科において、電気自動車の整備に関する職業訓練を実施
- ・「企業から学ぶ！専門高校カーボンニュートラルプロジェクト」の令和7年度実施校を決定し、スタートアップ研修を実施

【実施校（10校）と主な連携先】

- ①岩国工業高校（株サンライン）、②徳山商工高校（東ソー株）、③南陽工業高校（日本製鉄株山口製鉄所）、④防府商工高校（中國三國重工業株山口工場）、⑤美祢青嶺高校（株ジオパワーシステム）、⑥田布施農工高校（ほうふーどファクトリー）、⑦柳井商工高校（株丸久）、⑧宇部商業高校（株アースクリエイティブ）、⑨厚狭高校（株花の海、道の駅於福）、⑩田部高校（株秋川牧園）

■物流

- ・物流効率化に向けたセミナーの開催（7/3）
- ・やまぐち物流効率化促進補助金の公募（6/25～7/22）採択【2件】

■国への働きかけ

- ・春の政府要望を実施（6/12）※産業分野のC N関連で「超重点」5項目を要望



9月以降の取組

- 物流効率化に向けたセミナーの開催、専門CDの伴走のもと、補助採択事業の取組を支援
- 秋の政府要望を実施

区分	名称	基準値	直近実績 (矢印は前年度比)	目標値
コンビナート	コンビナートを構成する製造業のエネルギー起源CO ₂ の削減	1,999万t-CO ₂ (2018年度)	1,896万t-CO ₂ ↑ (▲5.2%) (2021年度)	▲32.0% (2030年度)
	次世代燃料・素材の供給に向けた連携プロジェクトの着手件数（公表ベース）	0件 (2021年度)	3件 (2024年度) ↑	3件 (2030年度)
	港湾脱炭素化推進計画の策定	0港 (2021年度)	1港 (2024年度) →	5港 (2030年度)
自動車	電動化に対応した新技術・新製品の研究開発等プロジェクト化件数（累計）	0件 (2021年度)	2件 (2024年度) ↑	8件 (2030年度)
	自動車関連企業の省・創・蓄エネ関連設備導入件数（累計）	—	46件 (2024年度) ↑	80件 (2030年度)
環境・エネルギー	再エネの発電出力	178万kW (2021年度)	254万kW（速報値） (2024年度)	300万kW (2030年度)
	環境・エネルギー関連産業における事業化件数（累計）	76件 (2021年度)	97件 (2024年度) ↑	120件 (2030年度)
	事業者への省・創・蓄エネ関連設備導入等の支援件数（累計）	65件 (2021年度)	127件 (2024年度) ↑	230件 (2030年度)
	燃料電池自動車等の導入台数（累計）	35台 (2021年度)	52台 (2024年度) ↑	700台 (2030年度)
	山口県認定リサイクル製品数（累計）	506件 (2021年度)	533件 (2024年度) ↑	614件 (2030年度)

区分	名称	基準値	直近実績 (矢印は前年度比)	目標値
	水力発電の供給力（最大出力）	51,652kW (2021年度)	52,752kW ↑ (2024年度)	53,000kW (2030年度)
「選ばれる企業」 ／産業集積	事業者への省・創・蓄エネ関連設備 導入等の支援件数（累計）【再掲】	65件 (2021年度)	127件 ↑ (2024年度)	230件 (2030年度)
	事業者の省エネ診断の受診件数 (累計)	123件 (2021年度)	347件 ↑ (2024年度)	590件 (2030年度)
	中小企業経営革新計画件数 (脱炭素化)	0 件 (2021年度)	6 件 ↑ (2024年度)	180件 (2030年度)
	脱炭素に取り組む企業の誘致件数 (累計)	25件 (2021年)	27件 ↓ (2024年)	200件 (2023～2030年)
農林水産業	有機農業面積	119ha (2021年度)	212ha ↑ (2023年度)	200ha (2030年度)
	県産木材供給量	30.1万m ³ (2021年度)	30.3万m ³ ↓ (2024年度)	47.5万m ³ (2030年度)
	再造林率	28.5% (2016～2020 年度平均)	45.2% ↓ (2024年度)	60.0% (2030年度)
	森林バイオマス利用量	64.2千t (2021年度)	84.0千t ↑ (2024年度)	94.0千t (2030年度)
	漁港施設を有効活用した藻場造成 箇所	—	4 箇所 ↑ (2024年度)	7 箇所 (2030年度)

参考指標

〔環境面の参考指標 単位：万 t-CO₂〕

項目		2013 年度 (基準値)	2030 年度 (目標値)	2013 年度 比増減	2018 年度	2021 年度 (速報値)
CO ₂ 排出量	産 業	2,076	1,523	▲26.7%	2,221	2,104
	工プロ	705	619	▲12.3%	705	687
	エネ転	365	192	▲47.4%	307	274
	業務他	248	118	▲52.5%	204	189

2013年度比

+ 1.3%

▲ 2.6%

▲24.9%

▲23.8%

※産業部門も
2017年度を
ピークに減少傾向

〔経済面の参考指標〕※下線部は遡及改定後の数値

項 目			戦略策定時の基準	2025 年度評価時点
全産業	県内総生産（名目）		6 兆 2,305 億円 (2019 年度)	6 兆 3,062 億円 (2022 年度)
	1 次産業		430 億円 (2019 年度)	437 億円 (2022 年度)
	2 次産業		2 兆 4,883 億円 (2019 年度)	2 兆 6,374 億円 (2022 年度)
	3 次産業		3 兆 6,788 億円 (2019 年度)	3 兆 5,826 億円 (2022 年度)
製造業 関連	付加価値額		1 兆 7,281 億円 (2020 年)	国の調査の公表 の遅れにより未 確定
	労働生産性		2,139 万円 (2020 年)	
	鉱工業指数 (2020 年=100)	生産	100.0 (2020 年)	110.0 (2024 年)
		出荷	100.0 (2020 年)	99.0 (2024 年)
		在庫	100.0 (2020 年)	99.0 (2024 年)

↑

↑

↓

↓

- 従来、連動性が高いものとされていた「経済成長」と「環境負荷」との分離を目指す。

